

(別添4)

【北秋田市】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

急速に変化していく情報化社会に対応できる様、ICTを最大限活用することにより、個々の「最適な学び」や電子黒板等のICT環境を活用した「協働的な学び」を進めることを目指します。

1人1台端末を用いて、「情報を収集する能力」や「情報を取捨選択できる考え方」を教えると共に、現実社会で必要とされる非認知能力のスキルアップ（フューチャークラスでのプレゼン能力の向上等）を身に付ける教育の実施を目指します。

2. GIGA第1期の総括

当市は早期から校務用PC導入に併せ、タブレット端末の各校1クラス分の整備を実施しICT機器の充実に取り組んできました。

令和2年度には、国のGIGAスクール構想により1,428台の端末を導入し、1人1台端末を整備することができましたが、経年劣化等によるトラブルが多発し、児童生徒の減少によりある程度、予備機の台数を確保できていますが、それでも程度の良い予備機の台数が少ない状態となってきました。

各校からの障害票を基にネットワーク保守内でアセスメントを随時実施し、不具合が確認された学校には不具合の解消に対する対策を講じています。同保守により全校で推奨帯域をクリアしております。

なお、端末の持ち帰り学習においてはWi-Fi環境の無い家庭に、ポケットWi-Fi機本体を無償で貸し出し、持ち帰り学習をサポートしていることから、全学校で持ち帰り学習が可能な状況となっております。

3. 1人1台の利活用方策

1人1台の端末が「学びの道具」として定着したことから、自身のペースで学習を進められるデジタル教科書の更なる活用を進め、より実践的な活用を図っていきます。学習支援ツールは、児童生徒及び教師の端末連携や電子黒板活用による画面共有学習をリアルタイムで実践することにより、複数人での協働学習を進めていきます。

また、不登校の児童生徒に対しても、個々の端末へのリモート接続により、学びの場を広げることで学習機会を確保していきます。

これからのICTの進展に遅れることの無いよう、1人1台端末を引き継ぎ維持することが重要と考えます。